福岡教区のアプリができました。スマートフォンで教区情報を簡単に得ることができます。詳細は教区ホームページでご確認ください。

カトリック福岡教区報

ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　山元　眞
TEL　092-522-4059
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　1部70円

平和のために働く決意を新たに
主よ、わたしたちに何を語っておられますか
ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）

待降節を前にして、身近なところから世界の現実まで、この一年間の出来事や出会いを振り返り、神様が、それらを通して私たち一人ひとりに向けられる声に、祈りながら耳を傾ける必要がある。そして、アベイヤ司教は２０２４年を平和のために働く決意が深まる年にしたいと述べ、待降節の出来事を通して、現実から聞こえてくる神の声や聖霊の促しを心に留め思い巡らすよう励ましている。

カテドラル大名町教会司牧訪問で
子どもたちから花束を贈られる司教

２０２３年が終わろうとしています。これから新聞や雑誌に過ぎてゆく２０２３年について様々な分析が出てくるでしょう。テレビなどで数多くの討論会が行われるに違いないと思います。それらは現実をよりよく理解するための助けになります。ただ、私たちは、２０２３年の色々な出来事や出会いが私たちの生き方にどのような影響を及ぼしたか、また、どのように私たちの信仰に問いかけられたかを考える必要があります。「祈りのうちに」一年の歩みを振り返りながら、この１年の出来事や出会いを通して、神様が一人ひとりに向けられる声に耳を傾ける必要があります。信仰を生きるのは、この現実の中だからです。

きっと、まず浮かんでくるのは「戦争」ということばでしょう。毎日のようにマスメディアは、私たちに恐ろしいイメージを届けています。深い悲しみと強い憤りを感じます。こんなに多くの人々にこれだけの苦しみを負わせる権利が誰にあるかと考えます。しかし、同時に多くの人々の献身的な支援活動や世界のあらゆるところで平和を訴え、平和のために働く人々の姿も見えてきます。希望を与えてくれます。来たる２０２４年を平和のために働く決意が深まる年にしたいと思います、身近なところから世界の広い現実の中にまでです。

教会には、二つの大事な出来事がありました。世界青年大会（ＷＹＤワールドユースデー）と第16回の通常シノドスの歩みです。違った形で同じように私たちに「希望をもってともに」歩むように呼びかける出来事です。これらの出来事を遠いものとして感じているかも知れませんが、教会の在り方を示しているものです。様々な難しい課題を抱えている教会ですが、現代において福音を生き、伝えることによって世界に貢献しようとする教会です。そこから学ぶことがあります。

そして、身近なところの出会いや出来事にも目を向ける必要があります。それは、家族、職場、学校、近所、教会等です。その中で感じた喜びや苦しみ、与えられた気づき、視野を広げてくれた体験等を振り返ってみると、感謝を味わい、反省をもさせられるのです。また、どこで心の渇きを癒す泉を探し、どこでそれを見つけたかを思いめぐらすのはとても大切です。

これから待降節が始まります。各教会で黙想会を企画されていると思います。黙想会は、単に講話を聴くだけではなく、現実から聞こえてくる神様の声や伝わってくる聖霊の促しを心に留めて思いめぐらすための絶好なときです。その中で、現代においてイエスの弟子として生きる道が見えてくるのです。皆様が有意義な待降節と恵み豊かな主の御降誕の祝いを迎えることができるようお祈りいたします。

ヨゼフ・アベイヤ

教皇様の意向のために祈りましょう

【教皇の意向】　障がい者
【日本の教会】　召命

12月の意向

東京大司教区補佐司教にアンドレア・レンボ神父

教皇フランシスコは、ミラノ外国宣教会のアンドレア・レンボ（Andrea Lembo）師を、東京大司教区の補佐司教に任命すると発表しました。

＜司教叙階式＞
日時：2023 年 12 月 16 日（土）12:00 ～
場所：東京カテドラル聖マリア大聖堂
司式：菊地功大司教（東京大司教区長）

＜略歴＞
1974 年 5 月　イタリア共和国ロンバルディア州生まれ
1974 年 11 月　トレヴィーリオ聖ペトロ使徒教会にて受洗
2004 年 6 月　司祭叙階
2011 年 4 月～板橋教会助任司祭
2012 年 4 月～習志野教会助任司祭
2017 年 4 月～2023 年 3 月　府中教会主任司祭
2017 年 5 月～カトリック・ミラノ外国宣教会管区長

2023年12月３日 宣教地召命促進の日・献金

キリストを知らない人に救いの福音を伝えることは、一人ひとりに課せられた神からの呼びかけにこたえること（召命）です。

すべての信徒がその使命を果たせるよう、また宣教に従事する司祭・修道者がよりいっそう増えるよう祈りましょう。

当日の献金は全世界の宣教地の司祭養成のための援助金として送られます。

神学生たちとの最後の集いは 多くの人の笑顔とともに
「タリタ、クム」2023神学院祭

福岡教区内外から多くの人が集った野外ミサ

11月３日（金・祝）、福岡カトリック神学院において、２０２３神学院祭が行われました。１９６０年の「侍者の日」から半世紀以上もの長い間、福岡教区内外の方々との出会いと再会の場として行われてきた神学院祭も、来年３月の閉校に伴い、最後の神学院祭となりました。

当日は晴天に恵まれ、最高気温も27℃にまで上昇し、11月とは思えないほどの暑さでした。北海道から沖縄まで全国各地より約２０００人もの人が駆けつけて下さり、ミサが始まりました。ミサの主司式は長崎教区の中村倫明大司教様、説教は大分教区の森山信三司教様が務められ、約50人の司祭団と16人の侍者の子供たち、シスター方にも聖歌隊としてご協力頂きました。

森山司教様が説教で語られた「私たちは日々キリストの声に従い、眠りと覚醒を繰返しながら、キリストの復活に与かるための準備を行なっている」という言葉が心に残っています。ミサの最後に福岡教区のヨゼフ・アベイヤ司教様の誕生日を皆でお祝いし、アベイヤ司教様から祝福をいただきミサを終えました。

ミサ後は、子供企画（ドッヂビー、綱引き）、院内カートツアー、古本市、何でも相談所、ロザリオ作りなどの催し物が行なわれ、沢山の方々の笑顔が見られました。牧山強美（スルピス会司祭）院長の講演会も沢山の方々にご清聴いただきました。

今回の２０２３神学院祭の開催にあたっては、多くの方々からご協力をいただき、無事に終えることができたことを心から感謝しております。個人的には、ワールドユースデーに一緒に行った神父様方、青年たちとの再会を果たせたことも大きな喜びでした。ありがとうございました。私たち神学生は来年以降、それぞれの場所で司祭職への歩みを続けます。その歩みは一人で成し得るものではありません。「タリタ、クム（起きなさい）」という私たち一人ひとりに向けられた主の呼びかけに応えながら、日々歩み続けて行くことができますように。これからもどうぞお祈り下さい。

福岡カトリック神学院
神学科３年　廣田学

少数精鋭で奮闘！神学生とコレジオ生

時の話題

永遠の贈り物

今年も、もうすぐクリスマスがやってくる。命ある全てのものに、そして、私の所属する小さな幼稚園と、小さな教会にも、クリスマスはやってくる。

かわいい教会の聖堂にも、色とりどりのイルミネーションが光り輝き、幼稚園ではイエス様のご降誕を祝う聖劇のお稽古が始まった。

全体での開催は４年ぶりだが、今年は、56回目のクリスマスお遊戯会が開催されることになった。

来てくださる全ての園児の家族の皆様と共に観覧し、お祝いできる、久しぶりのお遊戯会ということで、園児たちはもちろん、職員たちも特に気合が入っている。

他の園もそうかもしれないが、当園に入園する子どもたちの家の宗教は様々である。「イエス様」「マリア様」「ヨゼフ様」と聞いても、ピンと来る保護者はほとんどおられない。それでも、子どもたちが一生懸命に演じる姿に、全ての保護者が涙を流される。演じる我が子の成長した姿に感動しておられることがこちらにも伝わってくる。

カトリックの教えである「中心に神ありき」「愛と感謝」の精神は、語らずとも聖堂の中に満ちて、全ての人を包みこむひとときなのである。

いずれ卒園していく子どもたちの胸の底に、このクリスマスの思い出は深く刻まれる。そして、それは大人になって、たとえ年老いても、クリスマスを迎えるたびに、光るダイヤモンドの粒のように、心の底から浮かび上がってくることだろう。

永遠に消えることのない贈り物のように。神の愛とともに…。

鹿島カトリック幼稚園
主任　橋本　千恵美

みちくさ

先日、１９８６年の映画「ミッション」を久しぶりに観た。有名な米国人俳優ロバート・デ・ニーロ出演で、カンヌ国際映画祭パルム・ドールをはじめ、様々な賞を受賞した作品である。あらすじを簡単に言うと、18世紀のスペイン植民地下の南米にある密林で先住民への布教活動を繰り広げているイエズス会宣教師たちと、その先住民を奴隷として売却することを狙っている商人が衝突する物語で、キリスト教の希望と当時の植民地や奴隷制度の過酷な現実が痛ましく描写されている。最後に先住民は宣教師と共に虐殺という悲しい運命になる▼特に印象的な場面は、デ・ニーロが演じるイエズス会宣教師が川の中で先住民の子どもたちと楽しく水遊びをしているところ。当時のスペイン政府と奴隷商人を支えたポルトガル政府との植民地に対する権力闘争や奴隷制度そのものの是非という巨大な規模の課題の中で、微笑ましい愛情がチラッと描かれている。小さな出来事にもかかわらず、この映画の中心だと思われる。「私があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい」という言葉は、一度も登場しないのに実はこの映画の最も伝えたい暗黙のミッション（使命）であろう▼そこでタイトルの「ミッション」は、先住民の村に建てられる教会兼集会所である「伝道所」という施設と同時に「布教」や「任務」とも意味することに気づいた。個々人によって異なるとしても全てのキリスト教信者に何らかの「任務」（ミッション）がある。それは自分にとって何なのか日々神様に祈りつつある。（E）

深堀勝人（まさと）神父　帰天
また会う日まで　深堀神父様

深堀神父との別れを惜しみながら捧げられたミサ

10月24日（火）、久留米の聖マリア病院で帰天した洗礼者ヨハネ深堀勝人神父の通夜が26日（木）に、葬儀ミサと告別式が27日（金）にカテドラル大名町教会で執り行われた。式には、親族をはじめ、生前深堀神父が宣教司牧された教会、幼稚園、施設の関係者が参列し、別れを惜しんだ。

30年ほど前までは、司祭の通夜では同僚司祭が夜中まで連続してミサを捧げていた。当時の教区長、松永久次郎司教が司祭の通夜式を改訂することを望み、教区の典礼担当であった深堀勝人神父が中心となって現在の通夜式になった。深堀神父は器用で、他の典礼儀式などの式次第パンフレットを作るのも得意だった。ロザリオも自分で編んで贈り、喜ばれていた。

以来、通夜での別れの言葉と葬儀ミサでの説教は故人の年齢に近い同僚司祭が務めている。今回は、通夜での出話しを山元眞神父が、説教は渡辺隆義神父が務めた。

深堀神父は佐賀県伊万里市の出身。今は閉校となった福岡市浄水通にあった福岡小神学校に入り、40人ほどの小神学生と中高生時代を過ごした。今頃は、先輩司祭や、かつての同僚たちとも、主の元で永遠の宴を共にしているだろう。

第三回　福岡教区司祭評議会
動き出した諸活動

10月24日（火）、大名町教会1階ホールにて、今年度第3回の司祭評議会が開かれた。司祭評議会は、全司祭を代表する24人の評議員で構成される教区司教の諮問機関で、年4回開かれる。

まず、教区内5地区のこの夏の活動報告がなされた。平和旬間のための行事が行われたほか、中高生の集い、サマーキャンプや親睦レクリエーション大会、親子巡礼や研修会なども催され、コロナ禍で動きが止まっていた地区レベルでの活動が再開されたことが見える。

今回の評議会では、とくに青年の司牧と召命促進についての意見が求められた。カトリック神学院・福岡コレジオ閉鎖や司祭志願者の減少に伴い、今後の司祭召命の促進のためにどのような方法があるかの意見交換がなされた。召命を祈り続けながら、司祭としては、より若者と関わる機会や時間を設けること、また、召命を広く捉えて、信徒の召命養成を進めること、召命は家庭や小教区から生まれることを確認した。来年4月には、青年が集う場を大名町教会に開設する予定がある。

集会祭儀の司会者の養成については続いて検討される。教区経済問題評議会からの活動報告、教区の宣教司牧方針のアンケートの説明と協力呼びかけがなされた。教区設立100周年については在日外国人も含めて準備委員会が立ち上げられる。

福岡教区宣教司牧方針を受けて

2022年4月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介しています。
「宣教司牧方針」は右記QRコードからご覧になれます

関わることを諦めない

ヨゼフ・アベイヤ司教の指導による黙想会「イエスにならう生き方を求めて」は、10月29日（日）～30日（月）大濠カトリック会館宣教養成センターにて、教区の4地区から36人のご参加をいただき行われました。（福岡教区社会福音化委員会　正義と平和・人権部門「正義と平和協議会」主催）

アベイヤ司教は、イエスはいつも「見る（聴く）憐れむ（共感し）寄り添う（関わる）」と語られ、私たちは個人的な痛み・悲しみ、喜び・希望を分かち合うなかで、一人ひとりに寄り添ってくださっているイエスを振り返りました。

静かな学びと分かち合いのとき

朝・晩の祈りで深くイエスのみ心に触れ、神が命を尊び、すべての人が尊厳を持って生きるように託されていると感じました。そして翌日、「キリスト者の社会活動の原点」としてマルコの「屋根をはがして中風の人を降ろす」と「パンと魚をふやし5千人にと分かち合う」について話されました。イエスの姿や人の気持ちも手に取るように見え、自分自身の姿もその中に探すことができました。私は「見て、共感して、関わった」イエスのように、弱く、貧しい人につながっているだろうか。イエスが関わられたように、その社会の構造まで神の愛を届けるものに変えようとしているだろうかと問いました。

アベイヤ司教はキリスト者の特徴は「憎まない・諦めない」ことと語られましたが、社会活動に関わっていると人間の欲望や悪にぶつかり大変苦しく困難に感じられます。しかし、イエスが世の初めから今に至るまで、私たち一人ひとりを活かすために命を捧げられたことを実感させていただき扉が開かれました。神の力によって私たちが変えられ、変えられた人を通して、神が働いてくだされば社会は福音化していくと真の希望をいただきました。　正義と平和協議会　高瀬紀子（黒崎教会）

加賀山隼人

10月15日（日）14時から北九州小倉教会にてヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）の下、400年ほど前の1619年10月15日に殉教した小倉のディエゴ加賀山隼人、日出のバルタザル半左衛門と5歳の息子ディエゴの「殉教者記念ミサ」が開催され、司祭、神学生を含む約170人が参加した。冒頭で司教は、「イスラエルとガザで起きた戦闘、多くの子どもたちが犠牲になったことに心を痛め、一刻も早く終結するよう皆さんで祈りましょう」と述べた。

説教では「高山右近の下、改宗した隼人は、右近が弱者や病者を分け隔てなく、生きるために世話をする姿こそ福音宣教だと感じ、禁教令後も毎日の歩みを支えるキリスト教の教えを重視しました。隼人は処刑されるまで祈りの中で、信仰は生きる証（あかし）であり、共に処刑される人、拷問を受けて亡くなった人、改宗を余儀なくされた人に対して、祈り続け、キリスト者として生きてきたことの喜びを感じ、殉教に当たり〝主と共に生きる人は、主と共に死ねる〟福者となって、神の力を、そしてその証しをお示しになりました」と語った。

祈る心をひとつにして、感謝と賛美のうちに殉教ミサを終えた。

報告＝田川教会　丸田宏幸

北九州と佐賀で殉教者を偲ぶ

祈る心はひとつ、共に与るミサ

不動山

11月5日（日）、不動山殉教者祈念ミサが嬉野市の不動ふれあい体育館で行われた。長崎県境に近い不動山地区には、17世紀の初めに大村藩の迫害からキリシタンが逃れて来た。1606年に大村を追放されたイエズス会宣教師によって不動山にレジデンシア（布教所）がつくられ、日本人最初の司祭・福者セバスチアン木村が活躍した。その後、厳しいキリシタン捜索がおこなわれ、キリシタン殉教の悲話として語り継がれている。

1990年から毎年ミサが行われていたが、コロナ禍のため4年ぶりの開催となった。今回、初めてヨゼフ・アベイヤ司教がミサを主司式し、宮原良治名誉司教と佐賀地区の5人の司祭と早岐・川棚教会（長崎教区）の一ノ瀬輝幸神父が共同司式した。佐賀県、長崎県や大分県から約120人の信徒・修道者が参加。アベイヤ司教は説教で「殉教者が歩んだ道はイエスの生涯と一緒でした。人類を救う愛の道を父である神にすべて任せ、十字架を背負ったイエスの姿は、心に深く描かれていたでしょう」と語った。

久しぶりに顔を合わせた信徒も多く、ミサをともに捧げる喜びの声が聞かれた。地元不動山地区の方々による嬉野茶の販売も行われ、嬉しい一日となった。

報告＝伊万里教会　吉浦健次

4年ぶり、不動ふれあい体育館でのミサ

福岡地区カトリック女性の会　講演会
「わたしの示す地に行きなさい」

スクリーンを使って講話をする桑原神父

福岡地区女性の会は、10月14日（土）、今年叙階された桑原篤史神父（聖アウグスチノ修道会・笹丘教会助任司祭）の講演会とミサを企画し、大名町教会にて開催した。「わたしの示す地に行きなさい―創世記12章1節―」との演題で、男女85人の参加者があり、会場は若い神父様と熟年信徒のエネルギーで満たされた。

桑原神父は、東日本大震災をきっかけに、家族で親類を頼ってエジプトへ移住し帰国後、司祭の道を決断した。

神学生時代、アメリカ合衆国シカゴにあるローマ・カトリック神学院にて過ごしたが、コロナが直撃。オンラインでの授業、非公開のミサ、外出禁止など、海外での修道院生活は過酷に思われた。しかし、スライドで見る仲間たちとの様子や語られる経験は、終始笑顔と大きな喜びに満ち溢れていた。

厳しい環境の中で、ドラマチックな経験をした神父だが、しかし、自然体で底抜けに明るい。「仲間がいる」「今ここにあるもの、持っているもので豊かに生きる」桑原神父のこの言葉が今も心に響き続けている。

福岡地区カトリック女性の会
代表委員　浄水通教会　小澤　直子

サンパウロ
福岡宣教センター
営業時間：
10:00～18:00
定休日：日曜日・祝日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 ／fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp
レジナ アポストロールム

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社　森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

水俣病患者　語り部
吉永理巳子さん　インタビュー

9月に開かれた「水俣・福岡展2023プレイベント」の講演会「水俣病問題から考察～教皇フランシスコの『回勅　ラウダート・シ』が人類に語りかけるもの～」（カトリック福岡司教区社会福音化委員会主催・水俣フォーラム共催）で講師を勤めた水俣病患者の吉永理巳子氏（水俣市出身）。

※教区報11月号掲載

水俣病との闘病や自然環境への考え方などを訊ねた。

吉永　理巳子氏

Q．水俣病を患っている方々が抱えている辛さなどは、広く知られていないと思われます。まず、吉永さんのご健康についてお聞きしたいのですが、現在、調子はいかがですか。また、水俣病の辛さなどについてお話していただけますでしょうか。

A．いまのところ体力は維持できています。水俣病の症状の辛さは外観からは分かり難く、症状が起きる頻度も個人差があります。頭痛、肩こり、耳鳴り、こむら返り、手足のしびれなどがあります。私なりの健康維持の秘訣ですが辛いところに焦点を当てないこと、笑うこと、身体を動かし筋力をつけること。『泣くより、ひっ跳べ』（悩むより、やってみる）、そんな精神を感じさせた母の姿があるからかもしれません。

Q．水俣病で亡くなられたお父様やお祖父様に今、何をお伝えしたいですか。

A．まずは詫びたいです。私は長年に渡り、父や祖父が水俣病患者であることを隠し続けていました。患者と知られるのが嫌で水俣病に無関心を装っていたのです。父、祖父を認められなかった事に対して謝りたいと思っています。家族が水俣病で亡くなる中で、私は幸い生き残ることができましたから、子どもたちや孫の時代に水俣病の過ちを繰り返させないように伝えていくことです。常に父や祖父が今、私に何を語り伝えたいのか、心を研ぎ澄まし、聞き取る力をつけたいと思っています。「これからの世を見守って下さい」と伝えたいです。

Q．話が大きくなりますが、吉永さんの自然環境への考え方をぜひ教えてください。

A．自然環境では多様な生物が共存、循環しながら生命活動を行なっていると思います。もちろん人間も含まれます。人為的にこのバランスを崩し、引き起こされた水俣病はまさに人間の奢りでしかないと思います。人も自然と共生していく大切さを教えてくれたと思います。目に見えない小さな命が無くなることが、やがては人間の命もなくなるということ。人が創りだした人工的な自然に戻らないもの、分解できない物質はやがて人間に戻ってくることです。

Q．瀬本正之神父（イエズス会）の話の中で、吉永さんが特に印象に残った、あるいは、共有できると思われたことがありましたら、教えてください。

A．懇親会の席で「雨水がどこでも、飲めるようになるのが夢です」とおっしゃったと思います。とても印象に残っています。自分に降り注ぐ雨を想像すると現在はとても飲めそうもありません。改めて平和であることの大切さ、人も自然のなかにあることを意識した瞬間でした。

知りたい！ 福岡教区内の修道会 宣教会⑱

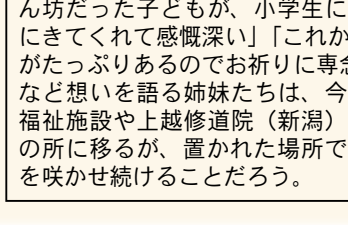
福岡教区には現在30の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。

昨春より紹介している、その修道会や宣教会。第18回は、聖クララ会です。

聖クララ会

私たちのセラフィム的母聖クララは今から約830年前にイタリアのアッシジで生まれました。1200年代の教会では知られていなかった、完全な剥奪によってキリストのものとなる全き清貧を通して、福音を生きて証していた聖フランシスコとの出会いにより、全てを捨てて悔い改めの生活へと導かれました。そして当時盛んだった女性の宗教運動を保護しようとする教会の指導の下、修道会という形をとるようになっていきました。女性のための会則を書き、自らを聖フランシスコの「小さき苗木」と呼び、聖フランシスコの理想を、女性として徹底的に生きようとした聖クララの生き方に共鳴する女性たちが急速に増え、全ヨーロッパへと広がっていきました。

アッシジの聖クララ



日本の聖クララ会はカナダからの創立とアメリカからの創立の修道院がありますが、根幹は同じですから、同じ霊性を生きる姉妹としてお互いに助け合い支え合っています。厳しい禁域を守り、生涯修道院の中で祈りと償いと労働を捧げる観想修道女として、私たちのカリスマをどのように生き、その宝を人々に分かち合い、奉仕していくことが出来るのか、日々祈り考えながら生活しています。

今、内戦 疫病、災害、中絶、環境問題などたくさんの苦しみ、悲しみ、痛みに傷つき呻いている現代世界の人々と全被造物、そして言葉にならない呻き。それらを通してとりなしてくださる聖霊と共に、自分自身の全てを、教会の原動力となる愛として注ぎだしていくことが、今私たち聖クララの貧しき姉妹に託されている尊い使命だと痛感しています。　聖クララ会・日本連盟会長　Sr. マリア・イルミナータ

聖クララ会・福岡修道院閉院

2023年10月いっぱいで、福岡教区で約36年ものあいだ奉仕をしてきた聖クララ会・福岡修道院が閉院し、10月29日、小郡教会（主任：川上惣一神父）の主日のミサの中で、教会共同体とともに歩んだシスター方へ感謝が捧げられた。

ヨゼフ・アベイヤ司教は説教の最後で聖クララ会に触れ、「シスター方奉献者は、共同生活を送りながら、その中で人と人、グループとグループを繋ぐ福音の持っている力を教えてくれる」と讃え、これからの歩みの上に豊かな祝福を祈った。ミサの最後には子どもたちから花束が贈られ、挨拶に立ったSr. 酒井裕子は、今まで一緒に歩むことができたことへの謝意を表し、「これからもずっと繋がっていて下さったら幸いに思います」と笑顔で結んだ。

ミサ後はお別れの茶話会が用意された。観想修道女であるシスター方は今までミサ後の集いに参加することはなかったが、この日は全員で出席し、お茶や軽食をとりながら、代わる代わる挨拶に訪れる信徒たちと団らんのひとときを楽しんだ。この日は、ルルド巡礼でシスター方と一緒だったという他教会の信徒たちも駆けつけ思い出話に花が咲いていた。ある信徒からは「教会ではミサ以外参加されなかったが、地域の活動（グランドボール大会や公民館の掃除など）には積極的に参加されていて、そちらでお会いできる時がとても嬉しかった」という声も聞かれた。

「福岡修道院には池や森が有り、静かで本当に良いところだった」、「自分がこちらで初めてミサに与った時に3か月の赤ん坊だった子どもが、小学生になり挨拶にきてくれて感慨深い」「これからは時間がたっぷりあるのでお祈りに専念できる」など想いを語る姉妹たちは、今後佐賀の福祉施設や上越修道院（新潟）など別々の所に移るが、置かれた場所で笑顔の花を咲かせ続けることだろう。

笑顔も花束にして。どうぞお元気で！

福岡雙葉学園創立90周年
100周年に向け節目の記念ミサと式典

本学園創立90周年を記念し、10月20日（金）に記念ミサ、10月21日（土）に記念行事が学園講堂（マリアンホール）で催されました。記念ミサでは司式にヨゼフ・アベイヤ司教様をお招きし、中・高全生徒に加え小6の全児童も参列して、一同で感謝の思いを合わせてミサに与かりました。そして記念行事は、アベイヤ司教様、森山信三司教様（大分教区長）の列席のもと、中高全生徒と教職員をはじめ、旧教職員や保護者と同窓会の代表を加えて挙行されました。

第一部・み言葉の祭儀では森山司教様司式のもと、「地の塩、世の光」（マタイ5・13～16）が朗読され、90年間の学園の歩みに思いを馳せながらお祈りを捧げました。第二部・記念式典ではアベイヤ司教様からの祝辞をはじめ、幼きイエス会のシスター方や在校生からのメッセージを、吹奏楽・合唱両部による曲歌の披露で織りなしていきました。第三部・記念講演では再び森山司教様が登壇され、「カトリック学校で学ぶ」をテーマにお話しいただきました。ご自身の幼稚園時代（司教様は本学園幼稚園の卒園生）のエピソードを皮切りに、様々な事例と人物たちの言葉を紹介しながら、いのちへのまなざしについて滋味豊かに語っていただきました。講演後に生徒・教職員それぞれでふりかえりと分かち合いを行ない、森山司教様のお話をより深く味わうひとときをもちました。

雙葉との思い出を語る森山司教

感謝の思いを合わせる生徒たち

福岡雙葉中学・高校　宗教部　中馬　隆史

3．シノドス的教会を目指して（最終回）
糸島教会協力司祭　山口　好信神父（鹿児島教区）

10月末にシノドスの第1会期が終わって総括文書がローマから出ました。その大まかな内容は11月12日付けのカトリック新聞に載っています。ここでは概略を述べます。

第1部は「共に歩む教会の顔」という見出し。どんな顔かというと―司教も司祭も信徒も同じ尊厳を持った信者として、キリストにおいて「神の国」に向かうこと。また家族のような教会で、責任も共にすること。私たちもお互いの対話や分かち合いを大切にすること。聖職者中心ではなくもっと信徒が働けること。特に女性がもっと働けるようにし、物事を審議し決定する過程に参加できること。支配や虐待が起こらない制度や仕組みを作ること。伝統や司教・司祭の教えも大事ですが、「時のしるし」つまり今の人々の切実な声を聴き取って大事にしていくこと。貧しい人や困っている人、外国から来ている人を大切にすること。カトリック以外の宗教や文化も福音的な部分があるので、尊敬をもって向き合い、対話すること。多々ありますが、今後の検討課題とされるものもあります。

第2部は「全員が弟子、全員が宣教者」という見出しで始まり、洗礼を受けた人は各人それぞれが派遣されている。家庭に、教会のいろんな活動や奉仕に、社会にです。修道者や司祭・助祭・司教、そしてローマ教皇という順序で、それぞれの働きが「奉仕」となるように見直されること。全体として、記述の順序は前回述べた「逆ピラミッド」になっています。

第3部は「絆をつむぎ共同体を作る」という見出し。神の意思を見極めるため、反対意見も聴いて、イエスならどうするだろうと考えていく。「皆に関わることは皆で考え、皆で決める」という姿勢で。デジタルな方法でつながることも必要です。地方教会も世界の教会も共に歩めるように。シノドスはイベントではなくプロセス・過程ですから、これからも検討は続けられ、具体的な対策もこれからです。私たちも関心をもって「共に歩む」教会になるよう努力を継続していきましょう。

BOOK 読みは専科

☆使徒的勧告　ラウダーテ・デウム―気候危機について　教皇フランシスコ（著）

2015年に出された回勅『ラウダート・シ（ともに暮らす家を大切に）』を補い、完成させる教皇フランシスコの使徒的勧告。科学的根拠に基づく教皇の呼びかけを真剣に受け止める時。教皇はドバイで開かれるCOP28（国連気候変動枠組み条約第28回締約会議）に12月初旬に参加する。

カトリック中央協議会発行　税込価格495円

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322　FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522　FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
ご一緒に働いてみませんか
URL：http://www.st-mary-med.or.jp/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山7-91　TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

年間目標　出向いて行く教会となる

カリタスジャパン「ガザ人道支援」募金の受付開始

パレスチナのガザ地区に対する人道支援のために献金をお願いします。

そして、パレスチナとイスラエルにおける深刻な状況のために、あきらめることなく、祈り続けましょう。

【募金受付口座】
郵便振替：00170-5-95979
加入者名：宗教法人カトリック中央協議会　カリタスジャパン
＊記入欄に「ガザ人道支援」と明記してください。なお、「ゆうちょダイレクト」ならびに他行からお振込みいただく場合は、ご依頼人番号、お名前の後に「6275」（ガザ人道支援募金の意向番号）を記入いただきますようお願い致します。
＊詳細は右記 QR コードからご確認ください。

祈りの集い 待降節特別編 ーインマヌエル 主は共におられるー

［日　時］2023年12月9日（土）10時～18時ミサまで（途中時間の区切りで参加可）
［場　所］手取教会 ※簡素なランチとおやつ付
［対象者］高校生から40才代まで
［連絡先］金 成千神父（カトリック手取・帯山教会助任司祭）080・8835・2486
内田 雅（マリアの宣教者フランシスコ修道会）
inorifmm@outlook.jp

日本カトリック典礼委員会主催講演会 典礼はキリストとの出会い

第二バチカン公会議『典礼憲章』発布60周年記念
［日　時］12月10日（日）13:00～15:30
［内　容］導入講話　宮越俊光氏（典礼委員会）
記念講演　F・ソットコルノラ師（典礼委員会顧問）
［場　所］カトリック手取教会（熊本市）
＊入場無料（自由献金）
［問合せ先］日本カトリック典礼委員会
litcomm5839@cbcj.catholic.jp
＊YouTube ライブ配信があります。右記 QR コードからご覧ください。

いのりをともに ～聖体礼拝とキリスト教的ビパッサナー瞑想～

［日　時］12月16日（土）16時～20時
［内　容］晩の祈り・キリスト教的ビパッサナー瞑想・夕食（食べる瞑想）・聖体礼拝
＊部分参加可
［場　所］大濠カトリック会館・宣教養成センター（福岡市中央区大濠1-7-14）
［同　伴］礼拝会シスターズ
［問合せ先］TEL 080・4735・6971（礼拝会）

― 召命を祈る集い ―

福岡地区　12月19日（火）13時30分～ 大名町教会
〔問合せ先〕☎ 092-921-4532　山口
北九州地区　1月11日（木）14時～ 小倉教会
〔問合せ先〕☎ 0949-24-9905　藤井（12月は休会）
熊本地区　12月11日（月）9時50分～ 手取教会
〔問合せ先〕☎ 0969-79-0015
大江・崎津・本渡教会主任、浦川務神父

― 各種団体の定例会 ―

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報12月号」、または右記 QR コードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案　内　板　会合と催し　12月のこよみ

主の降誕　夜半のミサ　YouTube でライブ配信

日時：12 月 24 日（日）19 時から
司式：ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）
（5 分前から配信開始）
＜視聴方法＞
＊教区ホームページ（右記 QR コード）
http://fukuoka.catholic.jp 参照
＊YouTube より「カトリック福岡司教区・主の降誕夜半ミサ」を検索。

真命山諸宗教対話センター　- 祈りの集い -

年間テーマ：真の幸せへの道
日　　時：1月11日（木）10時～15時
内　　容：「イエスは…群衆を見て、山に登られた」
指 導 者：S.フランコ神父（聖ザベリオ宣教会）
次　　回：2月8日（木）
内　　容：「神よ…あなたのほかに、しあわせはない」
指 導 者：S.フランコ神父（聖ザベリオ宣教会）
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail　shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします（要予約）

3日（日）待降節第１主日　宣教地召命促進の日（献金）
高宮教会司牧訪問
5日（火）教区顧問会
6日（水）ラウダート・シ委員会（東京）
7日（木）聖アンブロジオ司教教会博士
常任司教委員会・司祭生涯養成委員会（東京）
8日（金）無原罪の聖マリア
聖マリア病院70周年記念ミサ（久留米教会）
9日（土）聖マリア病院70周年記念式典
10日（日）待降節第２日主日　箱崎教会堅信式
13日（水）聖ルチアおとめ殉教者
司教総会（～15日 東京）
14日（木）聖ヨハネ（十字架の）司祭教会博士
16日（土）東京大司教区補佐司教叙階式（東京）
17日（日）待降節第３主日　若松教会司牧訪問
20日（水）ラウダート・シ委員会（ZOOM）
23日（土）新田原教会司牧訪問（～24日）
24日（日）主の降誕夜半のミサ　大名町教会ミサ司式
25日（月）主の降誕日中のミサ　手取教会ミサ司式
26日（火）聖ステファノ殉教者
27日（水）聖ヨハネ使徒福音記者
28日（木）幼子殉教者　青少年委員会
31日（日）聖家族　大名町教会ミサ司式
【1月】
1日（月）神の母聖マリア　大名町教会ミサ司式
世界平和の日
■ゴチックは司教日程

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記ＱＲコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

集いの詳細は、各問合せ先にお尋ねください。

■美野島司牧センター
○ホームレスの方に温かい食事と衣類　毎週火曜日10時
○ホームレス支援炊出し
調理　毎週金曜日14時
夜回り　20時から（12月29日は休み）
○路上からアパートに入居した方を訪問　第3土曜日14時
（問合せ先）☎092・431・1419コース・マルセル神父
■聖体といやしの家
ご聖体のある家でミサと礼拝のある今を過ごしてみませんか？必要があれば社会福祉士がシスターや同伴できます。
（問合せ先）☎080・4735・6971礼拝会

業務お休みのお知らせ

教区本部事務局
12月29日（金）～1月4日（木）

福岡教区人事異動

【2023年11月16日付け】
◆下町豊重師（行橋・豊津教会主任）
田川教会管理者兼務
◆谷口尚志師（水巻教会主任）
直方教会管理者兼務
◆申 侊秀師（田川・直方教会主任）
韓国ソウル教区へ

降誕祭・年末年始のミサ時間

教会	24日 降誕夜半	25日 降誕祭	31日 特別な集い	1日 元旦
福岡地区				
糸島	19:00	10:00	—	10:00
大楠	19:00	10:00	18:00 聖体賛美式 19:00 ミサ	10:00
古賀	19:30	0:00 9:30	23:00 Holy Hour 感謝のミサ	10:00
笹丘	18:00 20:30	10:00	—	11:00
浄水通	19:00	9:00	—	10:00
大名町	19:00 21:00 16:00 Eng	7:00 9:30 16:00 Eng 19:00 Vie	—	10:00 16:00 Eng
能古島	—	15:00	—	15:00
高宮	19:00	9:30	—	11:00
茶山	19:00	9:00	—	9:00
西新	19:00	10:00	—	10:00
箱崎	18:00 20:00 Vie	10:00	—	10:00
光丘	19:00	9:30	—	10:00
吉塚	19:30	11:00	—	11:00
南粕屋	17:00	9:00	—	9:00
老司	19:00	10:00	—	9:30
筑後地区				
今村	18:00 19:30	10:00	—	8:30 10:00
大牟田	19:00	9:00	—	9:00
小郡	19:00	9:00	—	9:00
久留米	18:00 (子どもミサ) 20:00	9:00	—	7:00 9:00 (成人祝福式)
二日市	19:00	9:00	18:00 年の終わり 感謝と前晩ミサ	10:00
本郷	19:30	10:00	—	10:00
北九州地区				
飯塚	19:00	9:00	—	10:00
黒崎	19:00	9:30	—	9:00
小倉	18:00	10:00	—	10:00
新田原	19:00	9:00	—	0:00 10:00
田川	—	12:00	—	12:00
天神町	19:00	9:30	—	10:30
戸畑	18:30	9:00	—	9:00
直方	20:30	12:00	—	11:30
水巻	18:00	10:00	16:00 聖体賛美式と教会の祈り	9:30
門司	19:00	10:00	19:00 年の終わりのミサ	10:00

教会	24日 降誕夜半	25日 降誕祭	31日 特別な集い	1日 元旦
湯川	19:00	9:00	—	9:00
行橋	19:00 インターナショナルミサ	10:30	—	10:30
豊津	17:00	8:00	—	8:00
若松	20:00	10:30	—	10:30
佐賀地区				
伊万里	19:00	9:00	—	9:00
鹿島	17:00	11:00	—	11:00
唐津	19:00	10:00	—	10:00
佐賀	19:00	10:00	—	10:00
多久	11:00	—	—	11:00
武雄	19:30	9:00	—	9:00
鳥栖	19:00	11:00	—	11:00
馬渡島	19:00	7:30	—	7:30 (未定)
呼子	19:00	10:30	—	10:30
松島	—	15:00	—	—
熊本地区				
荒尾	19:00	9:00	—	9:00
大江	18:30	—	18:30 (1日の前晩)	—
帯山	19:00	9:00	—	9:00
菊池	19:00 山鹿と合同	—	—	9:00 山鹿と合同
山鹿	—	11:00 菊池と合同	—	—
健軍	19:30	9:30	—	9:30
高遊原	—	—	—	—
崎津	20:30	7:30	—	7:30
島崎	19:00	10:00	23:00 祈り	10:00
玉名	19:00	11:00	—	11:00
手取	19:00	0:00 10:00	—	10:00
人吉	19:00	10:00	—	11:00
本渡	—	10:00	—	10:00
水俣	22:00	—	—	8:30
武蔵ヶ丘	19:30	10:00	—	10:00
恵楓園	—	—	—	—
八代	19:00	11:00	23:00 Holy Hour ミサ	11:00

注：大名町～聖堂が満席の場合は、１階ホール（ライブ配信会場）へ。

編集後記

降誕祭、幼子をくださった神の愛が沁みる温かい季節。（W）

10代～40代のみなさま
こんな悩みをお持ちでないですか？
相談は無料です。
必要に応じて専門機関の情報提供もいたします。ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

安心してお話が出来る人をお探しの方へ。
メール：hanahanahimawari2020@gmail.com
☎：080-4735-6971（9:00－21:00）
※対応できないときもあります。
※ 原則１回 30 分です。
LINE 右記 QR コード
―ぶろじぇくとHana―
ぶろじぇくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している、礼拝会を中心としたグループです。

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話　080-2694-4182
受付時間　月～金（祝日を除く）
10:00 ～ 12:00　13:00 ～ 16:00